



## 平成27年4月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年3月13日

上場取引所 東

上場会社名 ヤーマン株式会社  
コード番号 6630 URL <http://www.va-man.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長  
四半期報告書提出予定日 平成27年3月13日

(氏名) 山崎 貴三代  
(氏名) 宮崎 昌也

TEL 03-5665-7330

配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年4月期第3四半期の連結業績(平成26年5月1日～平成27年1月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年4月期第3四半期	9,192	△11.1	87	—	△23	—	△18	—
26年4月期第3四半期	10,342	△22.8	△307	—	△300	—	△192	—

(注) 包括利益 27年4月期第3四半期 △17百万円 (—%) 26年4月期第3四半期 △216百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年4月期第3四半期	△3.25	—
26年4月期第3四半期	△33.00	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年4月期第3四半期	9,772	6,403	65.5
26年4月期	10,321	6,631	64.2

(参考) 自己資本 27年4月期第3四半期 6,403百万円 26年4月期 6,631百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年4月期	—	18.00	—	18.00	36.00
27年4月期	—	18.00	—	—	—
27年4月期(予想)	—	—	—	18.00	36.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成27年4月期の連結業績予想(平成26年5月1日～平成27年4月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,501	0.9	659	76.8	647	73.1	414	88.4	70.98

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年4月期3Q	5,834,888 株	26年4月期	5,834,888 株
② 期末自己株式数	27年4月期3Q	152 株	26年4月期	152 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年4月期3Q	5,834,736 株	26年4月期3Q	5,834,736 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、(添付資料)2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	P. 3
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P. 3
3. 四半期連結財務諸表	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 7
(継続企業の前提に関する注記)	P. 7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 7
(セグメント情報等)	P. 7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(自平成26年5月1日至平成27年1月31日)におけるわが国経済は、政府主導の経済政策の効果により緩やかな回復基調で推移したものの、急激な円安を背景とした生活関連商品の物価上昇や中東における政情不安などにより、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況の下、当社グループでは、足元の体質強化を第一とし、費用対効果を重視した広告戦略や原価低減のための様々な取り組みを進めてまいりました。

これらの施策の成果が見られ始めた一方で、当期に入ってから円安の影響は大きく、この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は9,192百万円(前年同四半期比11.1%減)、経常損失は23百万円(前年同四半期は300百万円の損失)、四半期純損失は18百万円(前年同四半期は192百万円の損失)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

#### ① 通販部門

通販部門では、テレビによる通信販売業者を経由した個人顧客への販売、カタログ通販会社向けの販売、インターネット専売業者向けの販売を行っております。

ショッピング専門チャンネル向けでは堅調な売上を計上しましたが、地上波通販会社向けやカタログ通販会社向けでやや苦戦し、売上高は3,899百万円(前年同四半期比3.5%減)、セグメント利益は1,325百万円(前年同四半期比4.8%減)となりました。

#### ② 店販部門

店販部門では、家電量販店、大手百貨店、バラエティショップ等への販売を行っております。

大手家電量販店向け卸売事業において、直接取引形態への移行が順調に進んで店舗数も拡大してきており、売上高は2,272百万円(前年同四半期比30.6%増)、セグメント利益は534百万円(前年同四半期比33.5%増)となりました。

#### ③ 直販部門

直販部門では、インフォーマーシャルや雑誌、新聞、Web等を用いた個人顧客への販売を行っております。

当第3四半期連結累計期間では、インフォーマーシャルや各種媒体広告について、売上に対する効果を重視して支出する方針を継続しており、売上高は2,668百万円(前年同四半期比37.8%減)、セグメント利益は81百万円(前年同四半期比64.9%減)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における資産は、前連結会計年度末に比べ548百万円減少し、9,772百万円となりました。現金及び預金の増加85百万円、受取手形及び売掛金の減少477百万円、商品及び製品の減少275百万円が主な要因であります。

負債は、前連結会計年度末に比べ320百万円減少し、3,369百万円となりました。支払手形及び買掛金の増加161百万円、未払法人税等の減少180百万円、長期借入金の減少273百万円が主な要因であります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ227百万円減少し、6,403百万円となりました。四半期純損失の計上18百万円及び剰余金の配当210百万円による利益剰余金の減少229百万円が主な要因であります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第4四半期以降につきましては、利益を重視した販売施策を継続するとともに、海外も含めた新たな販路の開拓、市場のニーズに合った新製品・新商品の開発、ヤママンブランドの浸透などに力を入れてまいります。

なお、平成26年4月期決算発表時(平成26年6月13日)に公表した業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年5月1日 至 平成27年1月31日)
(税金費用の計算) 税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純損失に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年4月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年1月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,454,078	3,539,839
受取手形及び売掛金	1,792,590	1,314,951
有価証券	50,129	50,150
商品及び製品	3,224,434	2,948,604
仕掛品	33,688	42,451
原材料及び貯蔵品	239,140	255,058
その他	586,431	740,286
貸倒引当金	△3,217	△5,106
流動資産合計	9,377,276	8,886,236
固定資産		
有形固定資産	531,927	519,815
無形固定資産	262,862	229,807
投資その他の資産	149,156	136,865
固定資産合計	943,946	886,489
資産合計	10,321,222	9,772,725
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,170,524	1,332,116
1年内返済予定の長期借入金	423,365	369,393
未払金	578,967	640,648
未払法人税等	184,569	4,452
賞与引当金	30,500	11,975
返品調整引当金	126,129	84,728
その他	123,720	149,799
流動負債合計	2,637,776	2,593,113
固定負債		
長期借入金	1,034,882	761,832
その他	17,313	14,294
固定負債合計	1,052,195	776,126
負債合計	3,689,972	3,369,240
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,813,796	1,813,796
資本剰余金	1,313,795	1,313,795
利益剰余金	3,501,236	3,272,202
自己株式	△140	△140
株主資本合計	6,628,687	6,399,653
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,563	3,832
その他の包括利益累計額合計	2,563	3,832
純資産合計	6,631,250	6,403,485
負債純資産合計	10,321,222	9,772,725

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年5月1日 至平成26年1月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年5月1日 至平成27年1月31日)
売上高	10,342,748	9,192,644
売上原価	4,231,783	4,118,389
売上総利益	6,110,964	5,074,254
返品調整引当金戻入額	183,054	126,129
返品調整引当金繰入額	100,116	84,728
差引売上総利益	6,193,902	5,115,655
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	3,205,898	2,050,354
貸倒引当金繰入額	—	1,889
給料及び手当	457,297	428,896
賞与引当金繰入額	14,350	11,975
減価償却費	77,206	73,583
研究開発費	65,595	69,860
その他	2,681,526	2,391,174
販売費及び一般管理費合計	6,501,873	5,027,734
営業利益又は営業損失(△)	△307,971	87,921
営業外収益		
受取利息	418	451
受取配当金	238	250
為替差益	18,143	—
貸倒引当金戻入額	3,932	—
その他	12,838	6,798
営業外収益合計	35,572	7,501
営業外費用		
支払利息	23,970	15,865
支払保証料	934	660
為替差損	—	94,505
その他	3,691	7,536
営業外費用合計	28,595	118,568
経常損失(△)	△300,994	△23,144
特別損失		
固定資産除却損	1,886	569
特別損失合計	1,886	569
税金等調整前四半期純損失(△)	△302,881	△23,714
法人税等	△110,346	△4,731
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△192,534	△18,983
四半期純損失(△)	△192,534	△18,983

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年5月1日 至平成26年1月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年5月1日 至平成27年1月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△192,534	△18,983
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	327	1,268
繰延ヘッジ損益	△24,018	—
その他の包括利益合計	△23,690	1,268
四半期包括利益	△216,225	△17,714
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△216,225	△17,714
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成25年5月1日至平成26年1月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	通販部門	店販部門	直販部門	計				
売上高								
外部顧客への売上高	4,042,449	1,739,967	4,287,780	10,070,197	272,550	10,342,748	-	10,342,748
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	147,211	147,211	△147,211	-
計	4,042,449	1,739,967	4,287,780	10,070,197	419,762	10,489,960	△147,211	10,342,748
セグメント利益	1,391,295	400,582	231,137	2,023,014	49,983	2,072,997	△2,380,969	△307,971

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、先端電子部門、海外戦略部門等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△2,380,969千円には、セグメント間取引消去27,900千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,408,869千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自平成26年5月1日至平成27年1月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	通販部門	店販部門	直販部門	計				
売上高								
外部顧客への売上高	3,899,168	2,272,590	2,668,086	8,839,845	352,799	9,192,644	-	9,192,644
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	119,479	119,479	△119,479	-
計	3,899,168	2,272,590	2,668,086	8,839,845	472,279	9,312,124	△119,479	9,192,644
セグメント利益	1,325,080	534,603	81,183	1,940,867	123,764	2,064,632	△1,976,710	87,921

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、先端電子部門、海外戦略部門等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△1,976,710千円には、セグメント間取引消去27,900千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,004,610千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。